

No. 51

2022. 9. 10

美馬市立図書館

図書館だより

発行：美馬市立図書館

(指定管理者：あなぶき・TRCグループ)

〒779-3602

美馬市脇町大字猪尻字西分 116 番地 1

TEL 0883-53-9666

今年も暑い夏でしたね。まだまだ残暑の厳しい日々が続いています。

図書館では、利用者の方よりいただいた「スズムシ」が、心地よい音色を館内に響かせてくれています。秋といえば「読書の秋」でもありますね。図書館のゆったりとした空間で、穏やかな読書タイムをお楽しみください。

9月は防災月間

9月1日は「防災の日」です。美馬市立図書館では「防災特集」を展示しています。また、防災関連のイベントも開催予定です。

イベント案内

☆防災クッキング

「食のフェーズフリー～いつもの食事を、もしもの食事に～」

身の回りにあるモノやサービスを、日常時はもちろん、災害時にも役立てることができるという考え方「フェーズフリー」について考えます。

日時：9月25日(日) 午前10時30分～午後12時

場所：美馬市地域交流センターミライズ 料理のハコ

講師：一井郁子さん(管理栄養士・防災士)

対象：小学生以上

定員：先着12名程度 ※事前申込要

持ち物：エプロン、バングナ(三角巾)、筆記用具



おすすめの本

『おうち備蓄と防災のアイデア帖』

島本 美由紀/著 パイインターナショナル

地震、豪雨、台風など、自然災害が多い日本。日常生活に防災という視点を加えて、おうち備蓄を始めよう！備えておきたい7つの食品を示し、レシピや使いきるコツを紹介。もしもの時に役立つ防災クッキングとアイデアも収録。



☆楽しく学ぶ!MY 定期講座

「備えて安心!在宅避難のススメ」

避難所生活の課題や適切な避難先の選び方を学び、在宅避難の特徴とその条件を知る講座です。

日時：10月1日(土) 午後2時～午後3時30分

場所：美馬市立図書館 おはなしのハコ

講師：明治安田生命保険相互会社徳島支社

チーフ・コンシェルジュ 新田 さおり氏

対象：小学生以上(小学生は保護者同伴)

定員：先着10名程度 ※事前申込要

協力：明治安田生命保険相互会社



『こどものための防災教室』

小泉マユコ/著 理論社

地震や水害、大雪、噴火など、さまざまな災害を生きのびるためには、そなえが大切。避難時に身を守るためのグッズから、水・トイレ・衛生用品など生活に必要な日用品のそなえかたまで紹介する。



イベント・展示のご案内

☆四国大学文学書道文学科学生による「書道小作品展」

四国大学文学部書道文学科の学生による、書道作品を展示します。

期間：10月2日(日)まで

午前9時～午後7時

※図書館開館日/観覧無料

場所：美馬市立図書館

作品提供：四国大学文学部書道文学科

(監修：太田剛教授)

協力：NPO 法人 小星プロジェクト



<学生による書作品プレゼント>

来場者の「好きな言葉」を、その場でウチワや色紙に書いてプレゼント。

※揮毫は図書館で用意した色紙・ウチワに限ります。

私物の持ち込みはご遠慮ください。

日時：9月23日(金・祝)

午前11時～午後3時

場所：美馬市立図書館エントランス

定員：先着100名

(申込不要、但し一人一作品まで)



イベント報告



☆8月11日(木・祝)☆
「子どものお絵かき&大人の塗り絵ワークショップ」
 参加人数28名
 明治安田生命相互保険会社協力のもと、「家族とわたし」をテーマにしたお絵かきと、大人の塗り絵に取り組みました。

☆8月20日(土)☆

講演会「食用コオロギが当たり前になる未来を目指して」参加人数15名
 親子料理教室「グリラスパウダーを使ったスノーボールクッキー」
 参加人数9名



午前には、株式会社グリラスによる、環境にやさしい新たなタンパク源としての食用コオロギについての講演会がありました。午後からの親子料理教室では、食用コオロギパウダーの入ったスノーボールクッキーを作りました♪



☆8月26日(金)☆

「サトシマン絵本読みまショー in 美馬」参加人数16名
 絵本作家サトシマンの楽しい読み聞かせのあとに、サイン会も実施されました♪



☆8月21日(日)☆
「とくしま海の観察会 展示解説&ワークショップ」
 参加人数28名
 開催中の企画展「漂流物展」の特別企画。貝殻やサンゴ、ビーチグラスをつかったオリジナルクリップを作りました♪

☆8月27日(土)☆
「こわ〜いおはなし会」 参加人数12名
 今年もたくまんのこわ〜いおはなしを用意して、みんなに聞いてもらいました。こわかったかな？



☆8月28日(日)☆

「親子で挑戦！ロボットプログラミング〜こくりを動かして遊ぼう〜」
 参加人数10名
 しゃべってろぐくプログラミングロボット「こくり」を使って、親子でプログラミングに挑戦しました！



『白河夜船』 吉本ばなな



悩んだときや落ち込んだとき、「もうこれ以上頑張れない」と、心が疲れ切ってしまったとき、私のそばには吉本ばななさんの本がありました。

『白河夜船』は、友人を亡くし、日常に疲れてしまった主人公の心の蘇生を描いた物語です。

この本を初めて読んだ時期、私は鬱々とした日々を過ごしていて、本を読むことしかできませんでした。主人公も友人を亡くしてからずっと、時間とともに心も止まってしまっていたのですが、本当に些細なきっかけで、立ち直ったのです。「大丈夫じゃない日々があっても、いつかは大丈夫になる時が来る」、その瞬間を読んで、「私にもいつかそんな日が来るんだ」と思ったのです。結果、私も元気になったのでした。

本は時に、心に傷を負った人への漢方薬のような役割をもちます。苦しみの渦中にいる時は気づかないけれど、元気になったときに、あの本に支えてもらったな、と気づけます。また、「この本はまるで自分のために書かれた本みたいだ」と感じた瞬間、本は自分の味方になり、ひとりぼっちにさせない魔法をかけてくれていると思います。

図書館スタッフ 相木

